

3 まち育てプランの目標と方向性

3-1 まち育てプランの目標

肥沃で豊かな広い大地と青く澄んだ大きな空は、帯広のかけがえのない財産です。この豊かな緑と自然、先人の築いてきた田園都市づくりをしっかりと受け継ぎ、より質の高い都市空間を創造し、市民、事業者、行政の連携・協働により、次世代へと引き継いでいくことが求められています。

そのためには、長期的な視野に立ち、自然環境や人にやさしく、都市と農村の活発な交流がはかられ、コンパクトで持続可能なまちづくりをすすめていくことが必要です。

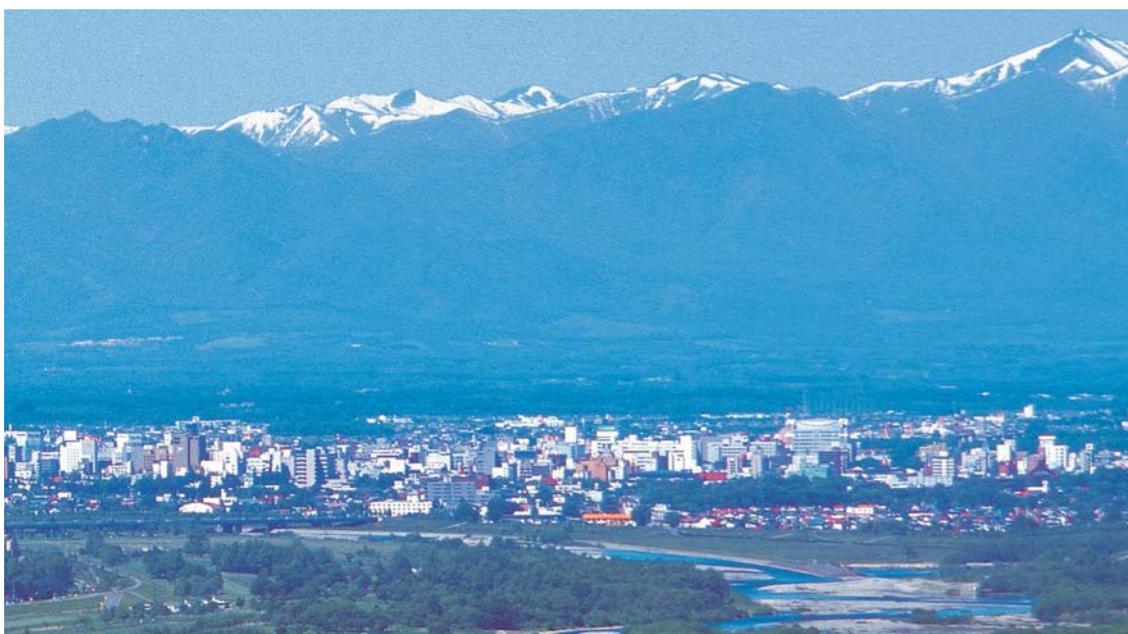
「おびひろまち育てプラン」は、まちづくりの将来像・基本方向を示す「帯広市都市計画マスタープラン」を実現し具体化していくものであり、そのことを踏まえ、

本プランの目標を

「やさしさあふれる “ 田園都市 おびひろ ” を未来につなげよう

とします。

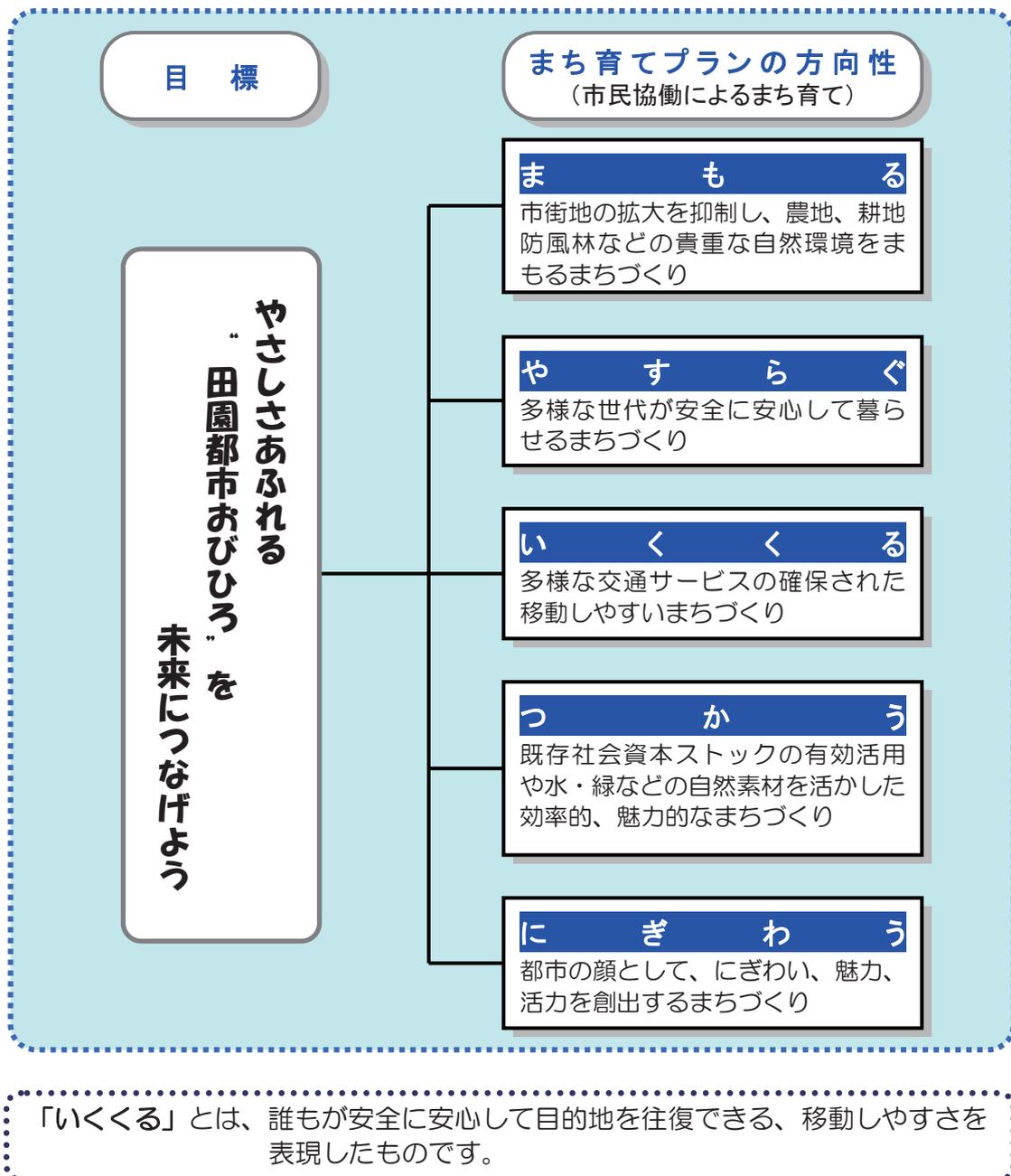
「やさしさ」は、自然環境や人、物などにもやさしくあるとともに、力強さ、賢さの中にあってこそ際立つものであること、そして、まちに誇りを持ち、主体性を持って暮らしやすい田園都市を次の世代へ受け継いでいくことを「つなげる」と表現しました。



3-2 まち育てプランの方向性

人口減少や少子高齢化の進行など、今後、帯広市が受け止めなければならない社会・経済情勢の変化とまちづくりの課題を踏まえ、目標の実現に向け、①まもる、②やすらぐ、③いくくる、④つかう、⑤にぎわう の5つの視点に基づいてまちづくりをすすめます。

まちづくりにあたっては、先人の努力によって蓄積されてきた都市基盤を有効に活用しながら、市民協働により取り組みます。



1) まもる

豊かな十勝平野に位置する帯広市の都市特性、自然特性を維持・継承するため、十勝川、札内川の水辺と帯広の森によって外郭を構成し、市街地の拡大を抑制します。

拡大型まちづくりから都市の内部を充実するまちづくりへと転換し、市街地を取り囲む優良な農地を保全します。

また、十勝平野の個性的な景観を特徴づけ、動植物など多様な自然生態系の維持・保全にも重要な役割を果たしている耕地防風林など、貴重な自然環境をまもります。

都市の拡大を抑制するため、適切な成長管理を行うとともに、都市と農村との交流促進基盤の維持・充実に取り組みます。



帯広の森

2) やすらぐ

今後、帯広市が直面する人口減少、少子高齢化などに対応し、多様なライフスタイルを展開することのできる住環境整備をすすめます。

このため、さまざまなライフスタイル、ワークスタイルに対応するまちなか居住を促進するとともに、住宅地における生活の利便性向上をはかります。

また、歩道や公園など、市民が日常的に使う施設のユニバーサルデザイン化や生活利便施設の徒歩圏内への立地などを促し、歩いて暮らすことのできる住環境を形成し、高齢者や子育て世代など多様な世代が安全に安心して暮らし続けられるまちづくりをすすめます。



中央公園

3) いくくる

都市計画道路の見直し、再編と合わせて交通結節点の形成促進と事業採算性を充分確保できるバスルートの再編・整備を一体的にすすめ、幹線ルートなどでの公共交通の利便性を高めます。

交通機関について、低床バスの導入などによるユニバーサルデザインの導入、交通結節点形成促進によるバス交通と自転車交通との連携、バス相互の乗継利便性向上などをすすめ、高齢者・若年者など交通弱者を含む、幹線ルートの近傍に居住する誰もが移動しやすい公共交通サービス体系を形成します。

交通結節点形成促進の際は、施設関係者の協力により、冬期の雪や寒さを防ぐなど、北国の気候風土に配慮した整備をすすめます。

まちづくりと連携して公共交通利用の魅力を高め、自家用車利用の抑制を促し、省資源、省エネルギー型の多様な公共交通サービスを確保します。



省エネ型路線バスシステムに関する実験
(てんぷら油によるバス運行)

4) つかう

拡大型のまちづくりから、既存の社会資本ストックを活用した、量から質へと軸足を移したまちづくり、まち育てをすすめます。

道路、公園・緑地などの都市基盤を有効に活用して水と緑の都市内ネットワークを形成します。また、都心エリアの空き地・空き店舗の活用や既存のオフィスビル、商業施設のコンバージョンによる多様な住宅供給、さらには中古住宅の流通や住み替えの促進による住宅地の更新、再生をすすめます。

既存都市基盤の活用にあたっては、澄みきった豊かな水や緑など、帯広の地域特性にふさわしい魅力的なまちづくりをすすめます。

5) にぎわう

都心エリアの商業・娯楽施設、文化・交流施設、行政機関、住宅、医療・福祉施設などの多様な機能を有機的に活用して、にぎわいを創出するため、緑の基軸（西2～3条・公園大通）を中心として、“帯広の顔づくり”をすすめます。

あわせて、朝市、味覚体験、歩行者天国など、帯広ならではのイベントを開催し、にぎわい、魅力、活力の創出をはかります。



おびひろ大朝市



平原まつり

